

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 東京都

実施担当会員社名	進藤総合園芸センター	
実施校名	武蔵村山市立第二 小学校 2 年生 2 クラス 合計 70 名	
実施期間	令和元年5月～7月	
栽培品目（品種）	ミニトマト（レジナ）、さつまいも（紅あずま）	
提携協力先		
実施概要	時 期	内 容
	5月上旬	● さつまいも・ミニトマトの栽培方法を学習する
	5月下旬	● 1人1苗をプランターにミニトマトの植え付けをする 学習農園にうねをつくり、さつまいもの苗を植え付けする
	6月	● 観察記録、草むしり、水やり開始
	7月	● ミニトマト収穫、夏休みプランターのもち帰り、栽培を継続
	10月中旬	● つる返し、芋ほり、つるでリース作り
	10月下旬	● ゆでいも、スイートポテトづくり
学校からの評価	<ul style="list-style-type: none"> ● レジナは、昨年の苗よりも収穫が多く、子どもたちが喜んでいました。 ● さつまいもは、土づくりが良くなかったのか、いもの成長がよくなかった。（小さく、量も少ない） 	
児童からの声	<ul style="list-style-type: none"> ● トマトが苦手だったが、自分で育てたミニトマトは、おいしかった。ミニトマトが食べられるようになった。 ● やおやさんに売っているような大きくカッコイイ形のおいもがとれなかった。 	
(種苗会社の) 実施担当者の感想 今後の課題・要望		

食育推進プロジェクト実施中間報告書

支部名 _____

実施担当会員社名	進藤総合園芸センター	
実施校名 及び 対象児童	福) 高原福祉会 村山中藤保育園「櫻」 東京都武蔵村山市中央 1-28-1 5歳児・4歳児・3歳児 合計122名	
実施期間	平成31年4月1日～令和元年8月31日	
栽培品目(品種)	じゃがいも、サツマイモ、トマト、なす、キュウリ、ピーマン ほか	
提携協力先	進藤総合園芸センター	
令和元年度 前半の 実施概要	時 期	内 容
	5月初旬	サツマイモ苗植え、夏野菜の苗植え
	6月下旬	じゃがいも収穫
	7月・8月	夏野菜の収穫(毎朝収穫し、その場で頂いたり、給食に添えて食べた)
令和元年度 後半の 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・9月より、小松菜、にんじん等の栽培を始める。 収穫した際には、野菜本来の味を堪能する。 ・10月末には、サツマイモの収穫をし、調理保育や親子の芋掘り会を予定している。 ・里芋やだいこんの収穫の時期には、釜ゆでをして味わいたい。 	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 東京都

実施担当会員社名	進藤総合園芸センター	
実施校名	村山中藤保育園「櫻」 2歳～5歳児クラス 合計名 164名	
実施期間	令和元年9月1日～令和2年3月31日	
栽培品目（品種）	小松菜、さつまいも、だいこん、はくさい、ほうれんそう、じゃがいも	
提携協力先	進藤総合園芸センター	
実施概要	時 期	内 容
	9月初旬	はつかだいこん収穫、スライスして味わう
	10月中旬	さつまいもの収穫（スイートポテトなどの調理保育）
	11月初旬	いもがら作り、つるを使ってのリースづくり 親子での芋掘り、茹でいも、鉄板で焼いて食べる
	12月・1月	だいこんの収穫（梅酢和え、浅漬けや、たくあん漬） やつがしら、里芋
	1月・2月 3月	白菜、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜の収穫（味比べ） じゃがいも植え付け
保育園からの評価	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に様々な野菜があることで、子どもの興味関心に合わせて、日常的に保育に取り入れることができている。自分たちで収穫した野菜を使っての調理保育、味比べはより一層の保育効果をもたらしている。 ・各担任と栄養士、調理師が年間を通じて連携し、調理保育にいかすことができ大変有効であった。 	
児童からの声	<ul style="list-style-type: none"> ・とれたての野菜は美味しいね、野菜は甘いね、好きになっちゃった ・自分たちでつくったおかずは美味しいね ・はっぱが凍ると甘くなるんだって…（ほうれん草に霜が降りて） ・白菜は緑で中が白、真ん中は黄色で柔らかい、漬物もおいしい。 	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年の事ながら、乳幼児であることから、すべての栽培に関わることは難しいが、日頃から目にする機会が多いことから、関心度も高い。 ・いずれも収穫するときの喜びを味わいながら、調理保育を楽しめた。 ・芋がら作りを大人と一緒に行う事で、いままでよりも抵抗なく食べられる児童が増えるなど、全般的に成果を上げている。 ・白菜、ダイコンの栽培と合わせ、3月にはじゃがいもの植え付けを行う。 	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 東京支部

実施担当会員社名	(有)東京花壇 取締役本店長 青木茂実	
実施校名	西秋留小学校 3年生 2クラス 合計 65名	
実施期間	5月23日	
栽培品目(品種)	枝豆(大豆)、つるなしインゲン	
提携協力先	無	
実施概要	時 期	内 容
	5月23日	通常授業を2コマつなげて頂き、2クラス合同で授業を行った。前半1コマで種子についてや、スライドを利用した授業を行い、後半の1コマで屋外へ移動し、播種とそれに付随した授業を行った。
学校からの評価	学校側からの評価は別紙の通りおおむねご好評をいただいております。先生方の希望もあるようですが、学校側の規模や行事、予算の関係もあり、先生方が希望するほど大掛かりにはできないとの意見もありました。	
児童からの声	楽しく授業に参加してもらえました。特に普段身近にみているものをより深く話をしたり、関連付けて植物の話をした際は、生徒の方から積極的に質問があったり、深くうなずいてくれるなど反応も良かったです。	
(種苗会社の) 実施担当者の感想 今後の課題・要望	<p>昨年の反省を生かし、先生方と打ち合わせをし、2コマ続きの授業にしていたことにより内容にゆとりが持て、こちら側もあせらずに進行することが出来ました。小学生の集中力なども考えると、座学で1コマ、実地で1コマ位の方が、児童たちもそれぞれに集中して作業の望めるのではないかと思います。</p> <p>ただ、昨年も報告させて頂いたように、春の忙しい時間と重なる為、打ち合わせや準備への負担が大きくなる場合があり、可能であれば、秋の葉菜類などを考えた実施も検討していただきたいです。</p>	

食育授業 実施レポート

貴校名	あきる野市立西秋留 小学校 3年 1, 2組 (児童数 65名)		
教諭ご氏名	栗田 智子、加藤 東彦	実演場所	学習 室
実施日時	2019 年 5月 23日 (木) 3, 4限目 10:40 ~ 12:15		
栽培品種	大豆、インゲン		
授業に対する ご評価および ご感想をお聞か せください	A-N 項目につき 5 段階にてご評価ください (5 とても思う・4 やや思う・3 どちらでもない・2 やや思わない・1 まったく思わない)		
	A	スライド教材の内容はわかりやすかったですか	5
	B	ワークシート教材は扱いやすかったですか	4
	C	先生方は たねや や シードアドバイザーをご存知でしたか	4
	D	シードアドバイザーの話に児童は興味をもちましたか	5
	E	贈呈した やさいのたね はご要望に合っていましたか	5
	F	児童はたねのちからに関心をもてましたか	5
	G	児童はたねまきのコツがつかめましたか	5
	H	児童にとって名前をつけることが親近感の醸成につながりましたか	5
	I	児童は授業を通じて命を育むことを感じることができましたか	4
	J	児童は食べ物が生き物からできていることを感じるきっかけとなりましたか	4
	K	たね、たねまきのコツが食育とつながりあることをご実感いただけましたか	4
	L	ネットでもたねの情報が入る時代においてアドバイザー(人)は必要ですか	5
	M	シードアドバイザーは今後の教育現場において力になると感じられますか	5
	N	今後において、シードアドバイザーからのアドバイスを希望されますか	5
	◆先生と児童の皆様でお取り組みになられた たねまき は期待通りの実践の場となりましたでしょうか 児童にはとても興味をもってたねまきに取り組むことができました。 もっと広い場所とたくさんの時間があるとよいが、学校事情としてはきびしい。		
	◆自由記入欄 (授業に対するご感想やご要望・課題・ご意見などございましたらお願いします) 事前にうね作りをしていただき、とても助かりました。		
児童からの声	◆児童からの感想がございましたらお聞かせください とても楽しかった。 名前をつけたのがよかった。話しかけて、大切に育てたい。		